

令和6年度 技術・家庭科【家庭分野】 1学年 指導・評価計画

学期	題材名	教材名	評価の観点			評価規準	主な評価方法	主な評価基準 (おおむね満足できる B)
			知識技能	思考判断表現	態度			
1	ガイダンス		○				授業観察	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校での学習内容に興味をもち、3学年間の見直しをもとうとしている。
	家族・家庭生活	○自分の成長と家族・家庭生活	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と家族関係について関心を持ち家庭生活の大切さを知る ・家族の一員として自分のできることを考える 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考査 自己評価表 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家庭にはさまざまな活動があること、家庭の主な機能について理解している。 ・自分や家族の生活は、家庭の内外の活動によって支えられていることを理解している。 ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 ・現在の自分は、家庭を支える仕事について何ができるかを考えている。 ・自分の成長は家族をはじめ、多くの人に支えられてきたことに気づき、自分が支える立場になれることを考え、実践しようとしている。 ・家庭生活を支える活動とそれを支える社会の仕事やしぐみの学習を通して、家庭生活と社会のつながりを考え、自分のできることから実践しようとしている。 ・家族関係をよりよくするために、家族や地域の人びとと協力する必要があると気づき、協力の方法を工夫し取り組もうとしている。 ・家族関係をよりよくするために、学んだことをもとに課題を解決する力を身につけている。
	衣食住の生活	○目的に応じた衣服の選択 ○日常着の手入れと保管	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の働きに関心を持ち目的に応じた着用について考える ・伝統文化としての和服に関心を持つ ・衣服の手入れに関心を持ち、洗濯や補修などに散り組む ・布を用いた物の製作に取り組み製作の計画を立てる ・適切な縫い方や始末の仕 	<ul style="list-style-type: none"> 授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考査 提出物 自己評価表 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の社会生活上のはたらきを理解している。衣服と社会生活との関わりがわかり、目的に応じた衣服の着用について理解している。 ・目的や個性を生かす着用を考え、デザイン画に工夫し記入している。衣服と社会生活（和服）について理解している。 ・和服と洋服の構成の違いや特徴、着方について理解している。 ・既製服についている表示から情報を収集・整理しまとめることができる。

					<p>方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンやアイロンの適切な取り組み方を知る 		<ul style="list-style-type: none"> ・既製品の表示の意味と選び方について理解している。 ・回収された資源が新しい衣服として生産されることを理解している。衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の手入れができる。 ・衣服につく汚れやしみの種類と性質について理解している。 ・衣服素材に適した手入れの必要性を理解している。 <p>取り扱い表示の意を理解して、適切な手入れ方法を選択できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な洗濯の方法と洗剤の使用法について理解している。 <p>洗濯機の安全で適切な使い方について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補修の目的に適した方法で衣服を補修することができる。 	
2		○生活を豊かにするものの製作	○	○	○	<p>授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考査 提出物 作品 製作カード 自己評価表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・布を用いたものの製作や衣生活、住生活などの生活の工夫に関する基礎的・基本的な知識や技術を理解している。 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 ・完成までの見通しをもち、自分なりの工夫を加えた製作計画を立てることができる。 ・布や用具を正しく安全に扱い、自分で工夫しながら意欲的に製作を進めることができる。 ・製作に必要な材料や縫い方が理解でき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。 ・基礎的なミシン縫いや補修の技能を活用して、安全で能率よく適切に製作ができる。 ・製作に必要な材料や縫い方がりかいでき、用具を安全に取り扱うことが適切にできる。 ・ミシンの使い方について理解し、適切に扱うことができる。 ・製作の手順や縫い方、必要な材料と用具の選択や安全で効果的な使い方について理解している。 	
3	衣食住の生活	○住まいのはたらきとよさ ○安全な住まいで安心な暮らし	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割や生活行為と住空間のかかわり、日本各地の住まい方を考える ・危険な場所や事故防止の対策を考える 	<p>授業観察 家庭ノート ワークシート 定期考査 提出物 自己評価表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいのはたらきには、機能的なはたらきと精神的なはたらきがあることを理解している。 ・日本の伝統的な住まいは、地域の材料を使い、気候風土に合わせてたり、自然のよさを取り入れたりして工夫

		<p>○持続可能な住生活をめざして</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備えた住まい方について考える ・快適な室内環境に関心を持ち、安全で快適に住むための工夫について、考える 		<p>されていることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいに必要な空間について知り、生活行為が分類できる。 ・さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを知る。 ・家庭内の事故の種類とその原因を理解し、安全を考えた住空間の整え方を身につけている。 ・室内環境を整える方法や安全に住むための対策について理解している。 ・住まいの地震対策から安全確保の方法を挙げることができる。 ・災害時、身を守るための準備や行動のしかたを具体的に説明できる。 ・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを理解している。
--	--	-----------------------	--	--	--	--	---